

西海国立公園指定60周年記念式典 表彰者

番号	氏名（団体名）	代表者	功績概要
1	させばパール・シー株式会社 水族館事業部	代表 川久保晶博 (かわくぼあきひろ)	<ul style="list-style-type: none"> ●九十九島の自然や水生生物についての調査及び発表・展示を行っており、調査の中で新種のクラゲやナマコを発見するなど、継続的な調査研究により、生物多様性の知見に寄与している。 ●地域の小学生や一般市民向けの自然体験イベント等の開催や、ボランティアガイドの育成・研修の実施など、商業施設でありながら教育施設としての一面も持ち、自然保護の啓発活動に大きく貢献している。
2	特定非営利法人 平戸観光ウェルカムガイド	理事長 籠手田恵夫 (こてだよしお)	<ul style="list-style-type: none"> ●西海国立公園の指定動物であるタイワンツバメシジミについて、指定前の調査より協力をし、指定後もタイワンツバメシジミの各保護事業を請け負い、離島である厳しい環境の中で仕様書以上の保護活動を団体の活動という観点で実施しているほか、西海国立公園のボランティアグループとして清掃活動や観察会等に協力している。 ●環境省の自然保護施策の理解者として、ボランティアにも近い請け負い事業でタイワンツバメシジミの保護活動を熱心に、自らもさらに負担となる自主事業を提案してまで実施しており、活動に対する評価は非常に高い。
3	馬田 勝義（うまだかつよし）	-	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和57年から長崎県内の渡り鳥について調査研究を始め、昭和63年からは西海国立公園鳥帽子岳でのアカハラダカの渡りについて調査・普及啓発を開始。 ●鳥類標識調査員として西海国立公園内のバンディングを鳥帽子岳周辺、さらに生月島御崎にも住宅を購入してまで精力的に実施。 ●西海国立公園平戸・九十九島地区の鳥類に関する造詣が深く、観察会等の講師としても活躍しており、当地域に不可欠な人材である。
4	遠藤 清明（えんどうせいあき）	-	<ul style="list-style-type: none"> ●鹿子前町三組公民館長として、地元をとりまとめ、西海国立公園鹿子前地区の管理に大きく貢献してきた。 ●西海国立公園鹿子前地区における巡視、案内活動、植物保護などを個人的にも活発に行っているほか、V Cや環境省への情報提供や、鹿子前地区の昔の隠れた自然・文化遺産についての歴史の語り部としても活躍。
5	出口 敏也（でぐちとしや）	-	<ul style="list-style-type: none"> ●西海国立公園五島地域において、渡り鳥や陸生鳥類、カヤネズミ等の野生生物の調査・報告や、国立公園内の清掃及び公園施設等の巡視・倒木等処理に従事するほか、自然観察会等各種講座の講師や登山会での自然解説などに勤めている。 ●独自にアブラボテ（環境省準絶滅危惧種）の保護増殖に取り組み、西海国立公園の生物多様性の保全に貢献している。
6	長谷川 忠雄（はせがわただお）	-	<ul style="list-style-type: none"> ●約9年にわたる九十九島遊覧船でのガイド活動の中で、乗船する観光客に九十九島の魅力を伝えている。 ●中国語や韓国語が堪能で、台湾や中国、韓国から来られたお客様とも積極的にコミュニケーションをとり、九十九島の美しい景観とその魅力を多くの方に詳しく解説し、九十九島の普及に大いに貢献している。
7	松尾 公則（まつおたかのり）	-	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和49年以来40年間以上、西海国立公園内（五島列島、平戸市、佐世保市）をはじめ、県内全域で哺乳類・爬虫類の調査を継続しており、西海国立公園の動物相にかかる学術的知見の蓄積に多大な貢献をしている。 ●研究成果にかかる著作の執筆やケーブルテレビ出演により、西海国立公園の生物多様性についての一般への普及啓発も評価に値する。
8	水口 良照（みずぐちよしてる）	-	<ul style="list-style-type: none"> ●約12年にわたる九十九島遊覧船でのガイド活動の中で、乗船する観光客に九十九島の魅力を伝えている。平成25年1月に活動回数が通算4000回に達し、観光に来られた多くの方にその魅力を伝えている。 ●自然によって浸食された九十九島の特徴的な砂岩を動物などに見立てて、自ら作成した「奇岩マップ」を観光客に配布し、九十九島の自然の魅力の発信に貢献している。